

The North Face Cup 2009予選会

ルール等



1. 各クラスで1時間、10課題のセッション。
2階を5エリアに仕切られており、好きなエリアに並んでトライします。
2. 各クラスで上位3人のみが7月の本大会（準決勝、決勝）へ出場できる。
ただしエキスパート男女に限り4位から8位までが本大会前日の敗者復活戦に参加でき、上位3名が準決勝に復活出場できる。
※注意）ワイルドカードやシード選手は予選免除。
3. 課題はスタートに番号が付いていてそれぞれに色分けされたテープが付いている。そしてそれぞれのカテゴリーがそれぞれの指定された番号の課題を登る。
4. スタートの条件は基本的に両手、両足でスタート。その他、条件付の課題もあるが取り付きに必ず表示する。
5. 完登は終了点を両手保持、K点はK点を保持したときに認められる。
6. ジャッジシートは各クライマーに大会当日手渡され、各課題の結果記入は各エリアのジャッジが行う。
また必ずトライする課題の番号をジャッジに伝えてからトライを開始する。もし間違いがある場合にはトライ直後にジャッジに申告をしてください。時間が経ってからの申告は無効となります。
7. 順位は完登数の多い順、完登数が同数であればK点の数で順位を付ける。ただ決勝への通過ライン上（三位）で同着人数が8名以内であれば8人とも本大会に進めることとする。9名以上の場合のみ最終順位の選手間でスーパーファイナルを行う。
8. 時間内の最終トライは認める。
9. エリア間の境界（各ジムで決める）線上を越えて足が出たりスミアリングをすることはOKとする。ただし、赤のバウンダリーテープが引かれている場合はそのテープから足が越えたりしてはいけない。
10. 付いているハリボテ、カンテ、コーナーはクライマーの創意工夫で最大限利用して良い。ただし赤のバウンダリーテープが張られている部分は使ってはいけない。
11. 指定された色のテープ以外のホールドは使ってはいけない。
12. クリーニングはジャッジに声をかけてクリーニングしてもらおう。
13. ウォーミングアップは大会で指定されている壁を避けウォーミングアップをする。ただし施設によってアップウォールが無い場合にのみ大会で指定されているホールドを触らずに大会で使用するウォールでアップをする。
14. 9から13の項目での違反で注意をしてもやめなかった場合にはその時点で失格とする。故意でなかったと認められる場合には注意にとどまるが2回目以降は失格の対象とする。